

# ふかがわ 市議会 だより

町内会長代表者と意見交換 ……2～3P  
テーマ:「地域の防災について」

## 第4回定例会

- ◆可決された条例、指定管理者の指定など ……4～5P
- ◆一般質問 ……6～13P

## 教えて市議会

- ◆「意見書ってなに?」・「予算が決まるまで」 ……14～15P
- ◆拓殖大学北海道短期大学 地域振興特別講座  
「市議会と地域振興」 ……16P

No. 233 2019・2

発行 深川市議会 平成31年2月7日発行  
編集 広報編集委員会



# 地域の防災について町内



出席者 **30人90分間の意見はコチラ!!**



## <当日いただいたご意見（抜粋）>

- ・非常用食料などの備蓄は、多目的低温倉庫と市立病院だけではなく分散したほうがよい。
- ・コミュニティセンターには、冬季の暖房や携帯電話の充電を考え、発電機があったほうがよい。
- ・あけぼの町内会では、自然災害・火災・緊急事態に備えて、市自治防災室や消防署の協力を受け、毎年一回防災教室を開いている。まだ自主防災組織は設立されていないが、できるだけ早く組織を立ち上げたいと考えている。
- ・町内会組織を自主防災組織に移行するよう段取りしている。
- ・多度志は水害が多い地区であるため、自主防災組織を14町内会一丸となって立ち上げ、現在、市自治防災室の協力を得ながら防災訓練を行っている。
- ・現在の多度志における避難所の安全性は大丈夫なのか？市に対して旧多度志中学校を避難所にできないかをお願いしているが、よい回答が出てこない。



## <アンケートからのご意見> ※防災以外も含む

- ・コミュニティセンター振興会等で防災に関する知識普及の働きかけを工夫して欲しい。
- ・時間をさいて多岐にわたって意見交換したい。
- ・意見書の取り扱い、陳情・請願など市民と直接関係のある情報が知りたい。
- ・近年、特によい市議会だよりになった。
- ・多くの議員諸兄は頑張っておられると思う。

町内会長代表者のみなさん、ありがとうございました。当日いただいたご意見をもとに防災を

# 会長代表者と意見交換！



市民に開かれた議会を目指している深川市議会は、議会改革の一環として、これまでに商工会議所、農業関係団体のほか、シルバークラブ連合会や男女平等参画推進協議会、青年会議所、深川地区連合会などの代表者の方々とさまざまなテーマをもって意見交換を実施してきました。

今回は、平成30年11月26日に深川市町内会連合会連絡協議会の役員を務めている14人の町内会長代表者と「地域の防災」をテーマに意見交換会を開催しました。

# 議会活動に活かす

当日の深川市町内会連合会連絡協議会からの出席は深川地区2人、一巳地区3人、納内地区3人、音江地区4人、多度志地区2人、議会からは全議員（16人）が出席しました。

意見交換会は、長野議長と遠藤町内会連合会連絡協議会会長による挨拶を兼ねた組織が抱える課題の共有からスタートし、次に、小田総務文教常任委員長より、近年の災害状況について説明をしました。その後、自主防災組織の設立に関することや、各町内会が実際に取り組んでいる事例など、具体的な地域課題について、意見を交わしました。

## 意見交換会は何のため？

意見交換会は、市民のみならず団体とある一定のテーマにそって、それぞれの立場で意見を交わり、その意見内容を今後の議会活動や市政に反映させるために開催するものです。

担当する総務文教常任委員会において所管事務調査などを実施していきます。

Pick Up

指定管理者の指定 市内11施設（公募7、任意選定4）の指定を可決

指定管理者制度は、地方自治法第244条及び深川市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例に基づくもので、民間事業者等が公の施設の指定管理者となることにより、住民サービスの向上と行政コストの削減を図ることを目的とした制度です。

現在、深川市において本制度を導入している施設は、公募の12施設と任意選定の4施設があり、今定例会では、そのうち11施設について市より指定管理者の指定の提案がありました。

なお、深川市は議会提案前に、学識経験者を含む5人で組織する深川市指定管理者候補者選定委員会において審査を行い、その結果を踏まえて議会に提案しています。

議会に提案のあった指定管理施設と指定管理者

施設名（愛称）	指定管理者	選定区分
総合福祉センター	(福) 深川市社会福祉協議会	公 募
都市農村交流センター（アグリ工房まあぶ）	(株) 深川振興公社	
オートキャンプ場		
いざないの里（道の駅ライスランドふかがわ）		
地域資源活用施設（アップルランド山の駅おとえ）		
アートホール東洲館	深川市美術交流協会	任 意 選 定
総合体育館及び総合運動公園体育施設	NPO法人 深川市体育協会	
北育ち元気村ライスターミナル施設	北空知広域農業協同組合連合会	
林業センター	北空知森林組合	
経済センター	深川商工会議所	
労働福祉会館	深川市高齢者事業団	

※各施設とも現在の指定管理者からのみ応募がありました。

※指定期間：平成31年4月1日～36年3月31日

※道の駅内のテナントについては、指定管理者が募集し契約します。

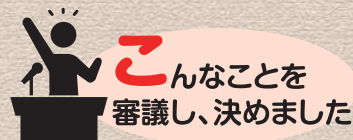
指定管理者選定結果：市HP



賛否が分かれた議案

第4回定例会	議案内容	議員名（議席番号順）																議決結果	
		菅原明義	宮澤孝司	松本雅祐	近沢弘幸	和田秀隆	佐々木一夫	木根昭夫	松原和男	水上真由美	太田幸一	辻本智	小田雅一	鶴岡恵司	長野勉	楠理智子	田中昌幸		
	深川市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	指定管理者の指定について（いざないの里）	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	30年度深川市一般会計補正予算（第9号）の専決処分の承認について	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認

※賛成=○、反対=●、除=除斥（採決に加わることができない）、長野勉議長は採決に加わりません



条 例	議員発議	補正予算※	意見書	付議事件※
7件	1件	10件	11件	11件

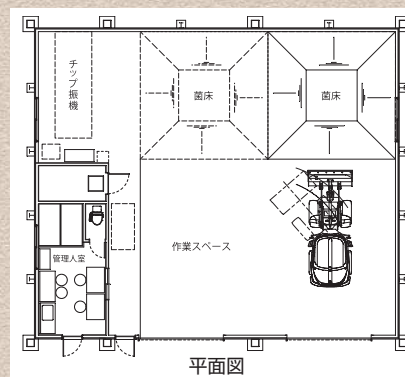
第4回定例会

Pick Up 深川市有害鳥獣処理施設条例

条例可決 捕獲したエゾシカ等の処理施設の管理運営事項を決定

全会一致

有害鳥獣処理施設は、エゾシカ・アライグマ・その他の有害鳥獣の適正な処理体制を整備し、農作物被害等の防止に資することを目的に設置するもので、現在、7,665万円（うち国費3,174万円）の予算をもって一巳町字一巳2501番地の4（大師）で整備を行っており、今定例会で管理運営事項を条例で定めるものです。



<事業内容>

- 年間受入計画  
エゾシカ340頭、アライグマ140頭  
※その他の有害鳥獣も処理
- 処理方法  
減溶化処理（微生物による分解）  
※約3日でエゾシカを分解
- 敷地面積 1,050㎡
- 建物面積 182㎡
- 工期  
平成30年7月～31年3月  
平成31年4月供用開始予定



①捕獲した鳥獣を菌床に投入 ②ホイールローダーで菌床の切り替えし

経済建設常任委員会の審査

Q 処分手数料は無料とあるが、市外から持ち込まれた場合、有料で受け付けるなどの考えはあるのか伺う。

A 本施設は国の補助事業を活用して整備を行っており、市内で捕獲された有害鳥獣の適正な処理という位置づけをしていることから、市外から持ち込まれた場合は、有料無料ではなくお断りすることになります。ただし、例えば全く有害鳥獣が捕獲されないなど、搬入されるものがなくなった場合には、その段階で検討をしていきたいと考えています。



深川市・北竜町鳥獣被害防止計画

※補正予算 年度当初の予算（当初予算）に、追加・その他の変更を加えるため提出される予算  
※付議事件 本市議会だよりでは、議案のうち条例、議員発議、補正予算、意見書以外のものを付議事件としています。

有害鳥獣処理施設設置・指定管理者決定

04 ページ

05 ページ

質問した事項

11人の議員の一般質問を紹介します。掲載しきれなかった質問は、深川市議会YouTubeチャンネルや一般質問通告表でご確認いただけます。

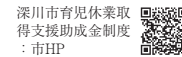


- 田中 昌幸 議員...06
・若者に安定雇用と所得増を
・指定管理施設で働く方の待遇向上を
■辻本 智 議員...07
・災害時、情報を早く正確に
・若い世代へ子育て支援の充実を！
■水上真由美 議員...08
・緊急時の電力確保対策は
・姉妹都市交流の今後について問う
■和田 秀隆 議員...08
・危険な空き家、安全防護を
・現単価でも生活苦。福祉灯油実施を
■楠 理智子 議員...09
・デマンド交通の検討状況は
・歯の健康を保つ取り組みについて
■小田 雅一 議員...10
・交通安全対策の充実を問う
・地域を挙げた農業の担い手対策を
■木根 昭夫 議員...10
・ふかがわパークについて
・高等学校の学校給食について
■松本 雅祐 議員...11
・地域防災計画見直しを問う
・小中学生の通学カバンは重すぎる！
■松原 和男 議員...12
・インボイス制度について
・本町通り無電柱化工事に住民配慮を
■宮澤 孝司 議員...12
・プラザホテル板倉への対応
・拠点施設への災害バルク導入を問う
■佐々木一夫 議員...13
・道種子条例の制定について
・深川西高羽球部の大活躍を受けて



たなかまさゆき 田中昌幸 議員 (民主クラブ)

若者に安定雇用と所得増を 方策を探り実施に移したい



次世代人材確保対策協議会実施の合同企業説明会

市内卒業生の転出による人口減少の防止策として、安心して働き、子供を産み育てることができ、職場環境づくりの取り組みを拡充するなど、若者の安定雇用と所得増の支援について市の考えを伺う。

を支給する「育児休業取得支援助成金制度」を独自施策として行っていますので、さらなる制度周知に努めていきます。

者の安定雇用と所得増加に向けた方策の充実を探り、実施に移していきたいと思っています。

方が、魅力を感じ働き続けられる環境づくりに向けた、待遇向上への取り組みを市が提供することについて伺う。

んにとつて、魅力的な職場となるためには、待遇向上への取り組みも一手法と考えますが、各施設において業務内容等も違うことから、まずは、各指定管理者と施設担当所管が連携し、現状の共通認識を図り、市として必要な取り組みを確認したいと考えています。



つじもと さとし 辻本智 議員 (公政クラブ)

災害時、情報を早く正確に 3つの伝達方法に限られた

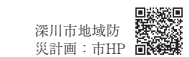
胆振東部地震では、市民生活に混乱が生じた。深川市地域防災計画では、「市民への情報伝達を迅速性と確実性から各種伝達方法を複数組み合わせて行う」とされているが運用状況を伺う。

で、施設に大きな被害がなかったことなどを理由に本部の設置はしませんでした。

また、今回活用した伝達手段としては、電源喪失によりコンピュータサーバーが停止し、ホームページ・エリアメールなどの機能が使用できなかったため、同計画で定

めた9つの情報伝達手段のうち電話、広報車、伝達員等による個別伝達の3つに限られました。

子化にまけないまちづくりを目指す本市の子育て支援策を後退させるべきではないと考えるかについて。国の子ども・子育て会議において、給食費(食材料費)について、保育を必要とする3歳以上の子供では、従来、主食費を公定価格の対象外と



深川市地域防災計画・市HP 河川の増水による災害



みずかみ まゆみ 議員  
水上真由美議員  
(新政クラブ)

## 緊急時の電力確保対策は 避難所等への対策も検討

Q 災害時、司令塔となる市役所が機能しなければ、適切な指示や情報提供など初動に支障が出る。支所や避難所等にも発電機及び燃料供給の協定を調べ、緊急時に備えた電力確保対策をすべきではないか。

A 現在の市役所は、庁舎内の全ての電力を賄える自家発電設備はありませんが、小型発電機5台により必要最低限の電力を供給することとしています。

また、燃料については、空知地方石油協同組合北空知分会と災害時における協定を結んでおり、市内のガソリンスタンドより調達が可能となっております。

ます。胆振東部地震により、さまざま課題が見え、ため、避難所等の電力の確保対策についても検討していきます。

姉妹都市カナダ・アボツフォード市：市HP



アボツフォード市役所



わだ ひでたか 議員  
和田秀隆 議員  
(無党派)

## 危険な空き家、安全防護を 持ち主に適正管理を促す

Q 深川郵便局周辺で崩落、一部倒壊の危険がある管理不全空き家がある。現在、弁護士が対応しているとのことだが、万が一の時のために、市でできる簡易測量等で定期把握と防護が必要ではないか。

A 深川郵便局周辺の空き家については、郵便局から連絡があった平成30年3月から屋根の雪おろしを初め、定期的に壁の剥離状況を計測しています。また、持ち主の関係者には適正管理についての文書を発信しており、受領していただいているようですが現在も返答がない状況です。今後引き続き文書通知を行っている

いきますが、屋根雪の処理等は建物の危険度が増しており行えないため、その旨郵便局にも了解をいただいています。

減少は今日まで続いており、現在の単価でも市民の家計は苦しい。冬期の生活支援に福祉灯油の実施が必要と考えるがどうか。

いた25年度に実施しており、そのときには1、142世帯に対して5千円を支給した実績があります。現時点で実施の考えはありませんが、今後における灯油価格の動向や、北海道の財政支援措置の有無等を総合的に見極め、判断したいと考えています。



12月21日現在の灯油単価



にしむら りちこ 議員  
楠理智子 議員  
(民主クラブ)

## デマンド交通の検討状況は 需要を分析し検討を重ねる

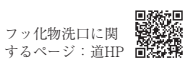
Q 岐阜県瑞浪市では、路線バスやコミュニティバスを運行していない地区でデマンド交通を予約制で運行している。深川市における、必要性のある地区に対するデマンド交通の検討について伺う。

A デマンド型乗合タクシーの運行については、これまで先進地視察や市内にどのような形で利用者が存在するか、「需要分析」を進めるなど検討を重ねてきています。本年度中に地域公共交通活性化協議会において意見をいただく予定としていますが、本市に合ったデマンド型乗合タクシーの導入には、地域の分析と地域に合った運行の

検討に時間を要するため、引き続き導入の検討に取り組んでいく考えです。

ある。健康被害の懸念の説明と、フッ化物洗口実施工後の虫歯予防の効果も伺う。

全性などを周知しており、保護者が希望したお子さんに対してのみ実施しています。また、当事業を開始してから現在まで、保育所・幼稚園、保護者から健康被害についての報告はなく、国などにおいても虫歯予防の有用性が確認されています。



フッ化物洗口に関するページ：道HP



北海道フッ化物洗口ガイドブック



小田雅一 議員 (公政クラブ)

### 交通安全対策の充実を問う 公安委員会へ要望していく

安全で安心して暮らせるまちづくりは大切である。そのためには、道路環境の整備・確保は重要な要素であり、見通しの悪い交差点や道路の整備状況をどのように確認し、対応しているのか問う。

信写機を初めとした交通安全施設の整備の最終的な判断は、北海道公安委員会が行いますので、今後も市として整備の要望をしていきたいと考えています。また、見通しの悪い交差点や道路整備も同様に変更していくとともに、市としても注意を要する地点の地域における交通安全運動の取り組みや学校への呼びかけ

啓発看板の設置などを引き続き行っていきます。**地域を挙げた農業の担い手対策を**新規就農を希望する方が本市で就農するには、地域での取り組みが重要となる。きたそらち農協も、新規就農を目指す方HPで呼び掛けを行って

いるが、市としての地域における取り組みはいかに。新規就農対策については、JAきたそらち・関係市町・空知農業改良普及センター北空知支所を構成員とした「JAきたそらち担い手プロジェクトチーム」が平成28年に設置され、深川未来ファームと連携しながら一体的な取り組みをしているところ。今後、地域を挙げて対策を推進していくとともに、労働力不足に対応するため外国人労働者の活用の可能性等も調査・研究し、地域農業の持続的な展開が図られるよう検討していく考え

交通事故をゼロに：市HP

平成28年 市内交通事故発生状況

発生件数	25件 (前年比10件減)
死亡者数	0人 (前年比 ±0人)
負傷者数	30人 (前年比12人減)



木根昭夫 議員 (民主クラブ)

### ふかがわポークについて 販路拡大を目指していく



深川未来ファーム HP  
養豚事業(ふかがわポーク)

農畜産物処理加工施設の管理は、民間業者への委託計画を変更し、深川未来ファームが養豚、加工、販売の全てを単独運営するようだが、製造ノウハウの取得方策と販売先ルートの確保について問う。

現在、整備中の地域資源活用農畜産物処理加工施設における加工品の製造ノウハウについては、深川未来ファームにおいて、これまでアグリサポート部門に食品・加工技術に係る専門員を配置し各種研究を行ってきたことから、その専門員の技術指導のもとでノウハウを取得していく考えです。また、販売先の確保に

ついては、道の駅での販売拡大、スーパーや飲食店への働きかけ、物産展等での販売など、市も一体となって販路拡大を目指していきます。**高等学校の学校給食について**北空知圏学校給食センターは、2,200食

の提供が可能であるが、小中学校の生徒の数が減り、将来的には高校への給食も可能と思う。共働き家庭の需要もあると思うが、実施に向けた市の考えを問う。

現在、市内公立高校及び両校のPTAから学校給食の提供についての要望等はありませんが、高校での給食提供については、将来的な検討課題と受けとめながら、魅力ある高校づくりにおいて今後「公立高校の魅力づくり検討会」での意見や、公立高校からの要望等を検討し、できる限りの支援を行っていきたいと考えています。



松本雅祐 議員 (無会派)

### 地域防災計画見直しを問う 地震での課題も含め見直す

9月6日の停電では、市役所の非常用発電機の不備もあり、災害情報の発信や通常業務に支障が出るなどの課題が露呈した。市民を災害から守るため深川市地域防災計画の見直しについて問う。

平成29年3月に石狩川の最大規模の浸水想定区域が明らかにされたことにより、それを反映したハザードマップの作成と避難所の見直しが必要となっています。このことを反映した、深川市地域防災計画の見直しを進めていく考えですが、今回の地震で得た課題や教訓も含めた同計画の見直しを行っていく

と、思っています。**小中学生の通学カバンは重すぎる！**小中学生の通学カバンやランドセルの重さが、発育や健康に影響を与えかねない重さに達している。このことから、負担軽減に対する市の考えについて問う。

文科科学省から北海道教育委員会を通じ「各学校において児童生徒の携行品の重さや量について改めて検討の上、必要に応じた適切な配慮を」との通知があり、その内容には、家庭学習で使用する予定のない教材等を置いて帰ることを認めたり、学習用具の一部を所定の場所に置くことが示



深川市地域防災計画：市HP  
洪水ハザードマップ

されています。深川市教育委員会は、この通知の趣旨にある「身体の健やかな発達に影響が生じかねないことへの懸念など」を踏まえるとともに、登校前の準備の大切さなども考慮し、通知にある具体例に基づき校長会を通して検討していく考えです。



まつばら かずお 議員  
松原和男 (無会派)

## インボイス制度について

### 支援策を広く周知していく

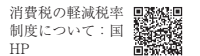
消費税率引き上げと抱き合わせのインボイス制度導入は、制度に準じなければ事業者は極めて不利となる。市内事業者への対応支援のため、関係機関との協働が必要であると考えが見解を伺う。

応があり、同制度による事業者側のシステム導入などを考慮して、消費税率引き上げから4年後の平成35年10月から開始となります。このことから、国は中小企業・小規模事業者等に対して、軽減税率対策補助金により、複数税率レジの導入等に要する経費を支援しており、

市ではHPでその情報の提供を行っています。今後も、深川商工会議所や深川市商店街振興組合連合会なども連携し、事業者へ広く周知していく考えです。

柱化工事は、工事期間が長いと感じる。本町通りの無電柱化計画は既に説明会が開催されているが、工事の長期化など商店街や住民への対応と配慮について伺う。

地域住民に対する全体説明会は、国と北海道がそれぞれ行っています。今後行われる各年度の工事区間での住民説明会や、個別の説明の際には、市職員が橋渡し役を担うことにより、商店や住民の皆さんの個別事情にも配慮していただけたよう調整を図っていかたいと考えていますので、工事に際しては、ご理解とご協力をいただければ幸いです。



無電柱化工事の様子



みやざわ たかし 議員  
宮澤孝司 (新政クラブ)

## プラザホテル板倉への対応

### 今後の動きを見守っていく

平成31年4月末で営業が終了予定で、経営の譲渡先を探しているとのこと。市民は、このまま閉館すれば市内経済にも影響があると不安視しているため、動向を踏まえた上で考えと対応を伺う。

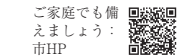
現在、関係当事者間で、プラザホテル板倉が営業を続けられない場合、経営を継続してくれる譲渡先を探す努力をするなどが話し合われていることを承知しています。

市は、2019年5月以降も同ホテルが担っているサービス・機能が継続されることが望ましいと思っております。従業員の雇用の安定確保も重要なことで、経営が続くことを期待しています。

いすれにしても、ホテル側の動きを注意深く見守っていく考えです。

災害ハルクは、大規模災害に有効であり、LPガスは品質劣化が少なく、備蓄燃料として大変優れているため、災害時の貴重なエネルギー源となる。拠点となる施設への設置について考えを伺う。

災害ハルクの設置工事費等には多額の費用が必要になることから、今後避難所の新設や施設の大規模改修時等の際には、導入について、電力の代替エネルギーのひとつとして研究・検討をしたいと考えています。



災害ハルク



ささき かずお 議員  
佐々木一夫 (無会派)

## 道種子条例の制定について

### 市の意見を北海道に提出済

私が第3回定例会で行った北海道種子条例の制定を望む内容の一般質問に対し、市長は農業団体等の声をみずから聞き、市として同条例に反映させて行く方針を約束したが、その実行を伺う。

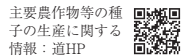
本市では11月2日にきたそらち農協担当課長、深川市農民協議会役員を招集し、パブリックコメントで示された北海道条例案等の説明後、意見聴取を行い、参加者から原種圃等の設置に伴う予算確保などの意見が出され、その結果、11月9日に「優良品種の種子の安定的な生産を推進するための必要な予算の確保」について北海道へ意見提出しました。

今後もし引き続き本件の動向を注視していきたいと考えています。

深川西高羽球部の大活躍を受けて、以前、クラーク記念国際高校野球部補助により、高校間の練習環境の格差解消のため、「公立

高校部活動にも支援を二としましたが、公立高校の特定部活に特化した支援はできないと言われた見直す考えはないか。

本市では公立高校2校体制の存続に向けて、深川市公立高等学校の魅力ある学校づくり事業支援交付金により、両高校の魅力づくりの取り組み



全国3位入賞報告

# 教えて市議会

～予算が決まるまで～

深川市議会は、定例会を年4回開催することが条例で定められています。市の当初予算については、3月に開催される第1回定例会の中で審査し議決します。

## 国や道に対する要望は

### 意見書として提出



※実際の意見書

市民のみなさんからの要望により、今号では、「意見書ってなに？ どうやって決まるの？」を紹介します。

#### 意見書ってなに？

【目的】地方自治法第99条に基づいて行われる意見書の提出は、深川市の公益に関する物事について、国や行政庁に対して住民代表である議会の意思を表明する地方議会の権利です。

【性格】意見書は市議会全体の意思であるため、可能な限り議員全員の合意に基づいて提案し、採決では全会一致によって可決されることが理想とされており、全国の多くの地方議会では、それを慣例として取り扱い、理想を具現化しています。

これは、どのような意見書が住民にとって有益になるかを基本的に会派間、議員間で十分に話し合い、互譲して一本化し可決するための努力を行っている証左と言われています。

#### どうやって決まるの？

深川市議会の場合は、会派制※を導入していることから、意見書を正式な議案として議長へ提出する前に、会派の代表者（主に幹事長）を中心

とした任意の会議である「幹事長会議」にそれぞれの会派で作成された意見書を提案します。

この会議において、所属する政党の方針や議員個人の政治信条などの垣根を超えて、市民にとって有益となる意見書を作成するために、全議員が可決できる内容に文言や表現を調整（互譲）する最大限の努力をすることを長年の慣例として行っています。

なお、無会派議員による意見書案についても、全会一致を目指すことには変わりないため、その意見書案に共感が得られた会派に無会派議員が調整を委ね、委ねられた会派は、自らが提案する場合と変わらない方法で調整をします。

しかし、こういった全議員に配慮した調整を図った場合でも、意見書案の内容と16人の議員の思いが必ずしも一致しないなどの理由から、意思統一が難航することもあり、結果的に調整が調わらず（不調）、議会へ提案されないことも多くあります。このようなことから、さまざまな立場の代表となる議員や政党議員同士の調整には、互譲を基本とする自

由な発言を担保する場が必要となるため、幹事長会議は非公開とするなど全会一致へつなげる工夫を重ね、定例会最終日に議決がなされています。

※正式な議案として扱われるものには、この慣例によらないケースもあり、全会一致に向けた調整方法もその都度見直されるため、今後変更する場合もあります。

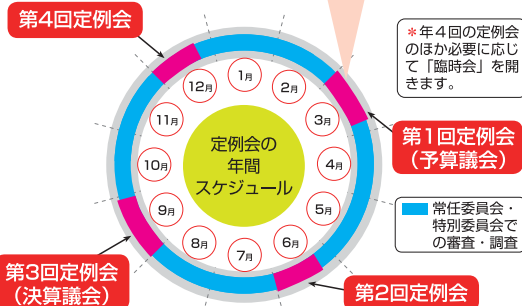
#### 意見書実績

	提案された意見書数	可決件数
30年	25	10
29年	12	12
28年	13	13
27年	14	14
26年	21	21

※可決したものは、全て全会一致で原案可決しています。

#### 第4回定例会で原案可決し内閣総理大臣などに送付しました。

■日米物品貿易協定交渉に関する意見書



**委員会** 議案等は、専門的に調査・検討するために設けられている委員会に付託され、審査を行います。

- 常任委員会  
…所管の事務に関する調査を行い、議案、請願・陳情などを審査します。深川市議会は、本年6月に行われる市議会議員選挙後から、「総務経済」、「厚生文教」の2委員会体制となります。
- 特別委員会  
…議案が特に必要と判断したときに設けられ、特定の事件を審査・調査します。
- 議会運営委員会  
…本会議の運営、日程調整などを行う。

※政党 自由民主党、公明党、立憲民主党、日本共産党などのこと

※会派制 議員全員が個々の意見を出す、意見集約に時間を要してしまうため、同じような政策を持っている議員がグループをつくって活動する方が能率的であり、議員も政策を実現しやすくなるというメリットがあります。このグループが会派です。



## 拓殖大学北海道短期大学 地域振興特別講座

# 市議会と地域振興

～地域の発展のため市議会は何をなすべきか～

1月17日に拓殖大学北海道短期大学（農学ビジネス学科地域振興ビジネスコース1年生）が実施している、地域活動に関わりのある学外の有識者が講師を務める「地域振興特別講座」に、深川市議会から長野議長が招聘され、客員教授として上記標題をテーマに60分の特別講座を行いました。

この講座の構成は、前段に市議会の位置づけ・役割・権限・しくみ・あらましなどの地方議会そのものを説明し、その後、「地域の発展のため市議会は何をなすべきか」という課題について、現在、市議会が行っている議会報告会や、市内のさまざまな団体と行う意見交換会の実績について紹介しました。



長野議長は学生達に対して、「市議会議員」は、地域住民にとって日常生活に密着している身近な政治家であるということや、「市議会」は、まちづくりにおける最高意思決定機関であることなどを説明し、その上で議員は幅広い年齢層の声に耳を傾ける必要があるため、今後、学生と議員が直接意見を交換できるような機会を創出していきたいという考えを伝えました。

市民に開かれた市議会を目指している深川市議会としては、今回のような貴重な機会をいただいたことにより、学生や大学に対して議会への理解を深めてもらう第一歩につながったと考えています。

今後も市政や市議会が抱える課題に対して、定例会や議会報告会などを通じて、一つずつ丁寧に対応していきます。



問合せ先：深川市議会事務局内

〒074-8650 深川市2条17番17号  
電話0164-26-2282（直通）

 YouTube 深川市議会YouTube  
チャンネル 



深川市議会

公式ホームページ

編集後記



平成30年第4回市議会定例会が終わり、今回も11人の議員による一般質問で、さまざまな視点から市政をいただきました。そのほかには、民事調停に係る補正予算の専決処分や意見書などで賛否が分かれ、それぞれの立場で議論もありました。

本誌では掲載しきれない議論があります。

ぜひ、市民の皆様には深川市議会ユーチューブをご覧ください、また本会議を傍聴いただけますようお願いいたします。

広報編集委員 佐々木一夫